

I. 生産物分類対応の基本的な考え方

令和8年経済センサス-活動調査の調査品目分類（以下「品目」）と統計表の表章上の産業分類の具体的な変更（選定）にあたっては、以下（1）～（6）の考え方をベースに、利活用の実態及び報告者負担に配慮し実施。

（1）生産物分類の導入：

報告者負担等を考慮しつつ、生産物分類の統合分類又は詳細分類等に整合

（2）利活用実態に配慮：

国民経済計算、産業連関表などの品目及び統計表の表章上の産業分類レベル（製造業、卸小売業は、一部を除き産業細分類）の利活用に配慮

（3）継続性の確保：

可能な限り、統計データの継続性を確保

（4）結果データの反映：

製造業品目は長期間変更していなかったことから、直近センサスの結果データ（製造業、鉱業）を見た上で実績なし及び秘匿の恐れ（※）があるものや市場規模が当該地域・当該中分類に対し小さなものは、原則、他の品目と統合

（※秘匿の恐れ…全国値・47都道府県値において現に秘匿となっている品目や、今後秘匿となりそうな品目）

（5）新規品目の掘り起こし：

製造業品目は長期間変更していなかったことから、一部の「その他の～」等の品目の中には、製造品出荷額が大。一定規模の市場が形成されているものは可能な限り取り出し、新規品目として設定

（6）日本標準産業分類、生産物分類改定の対応：

直近の改定分も反映

II. 製造業における生産物分類導入の考え方と結果

1. 製造品目

(1) 詳細分類を選定：約79%

- ①現行品目と生産物分類でも1対1で対応するもの
- ②需要先が異なるものは事業所数が少ないものを除き新たに分割・・・品目例は<参考2>1. ①参照
- ③製造業の実態を的確に把握するため新たに分割・・・品目例は<参考2>1. ②参照
- ④産業中分類跨ぎの対応のため詳細分類をさらに分割

(2) 統合分類を選定：約20%

- ①事業所数が少ないため詳細分類に分けることが出来ないもの・・・品目例は<参考2>2. ①参照
- ②他の統計調査において既に全部対象で調査を実施しているもの・・・品目例は<参考2>2. ②参照
- ③需要先は異なるが、事業所数が少ないため、やむなく選定・・・品目例は<参考2>2. ③参照

(3) その他を選定（関連する生産物分類をまとめて選定）：約1%

- ①一部品目は事業所数が少ないため、関連する生産物分類をまとめて選定・・・品目例は<参考2>3. ①参照

2. 加工賃品目

- ・製造工場の生産活動の実態の把握が必要なことや、関係者による利活用の実態があり、今後も現行と同レベル（産業細分類単位）での存続要望が多くあったことから、一部の産業を除き、**現行と同じレベルで加工賃収入額の品目を設定**

・生産物分類（詳細又は統合）への整合：約99% ※変更後は今次産業分類改定、生産物改定分も含む

・製造品目数は、現行、1,785個 ⇒ 変更後、1,617個

・加工賃品目数は、現行、554個 ⇒ 変更後、537個

製造業、卸小売業、鉱業の生産物分類への対応について

Ⅲ. 卸小売業における生産物分類導入の考え方と結果

- ・卸小売業の生産物分類は以下のとおり。 ※令和3年次版（2021年生産物分類策定研究会決定）の数字
詳細分類の総数は、**1, 275**（卸売870、小売405）
統合分類の総数は、**348**（卸売231、小売117）
- ・これに対し、センサス（※）の品目数は、以下のとおり。 ※令和3年経済センサス活動調査
卸小売業**194**（卸売104 小売90）
- ・詳細分類への整合は、**現在より品目数が膨大**になることから**記入者の負担を考慮し、基本的に統合分類に整合**。
- ・利活用二一ズが高い産業細分類（統計表章上の産業格付け情報）に可能な限り対応させ、生産物分類と合わない場合は産業小分類等に対応。
- ・品目選定にあたっては、産業細分類と統合分類が1対1、統合分類を複数に分け産業細分類に対応、関連する生産物分類をまとめることで産業細分類に対応させるなどして品目を選定。
- ・なお、一部品目については、製造品目との関係性についても考慮の上、品目を選定。
※参考4（p.8）参照

- ・生産物分類（統合分類等）及び産業細分類への整合：約92%
- ・卸小売品目数は、現行 194個 ⇒ 変更後 186個

Ⅳ. 鉱業における基本的な考え方と結果

- ・事業所数が少ない品目を除き、基本、詳細分類を選定
結果、詳細分類は、88.2% 統合分類は、11.8%が整合
品目数は、変更前 36個 ⇒ 変更後 34個

<参考 1> 製造業、卸小売業、鉱業の生産物分類への対応について

参考 1. 産業分野別の製造品及び加工賃の品目数

産業分野 (産業中分類)	製造品 品目数						加工賃		
	令和 3 年	令和 8 年					令和 3 年	令和 8 年	
	総数	総数	うち詳細分類	うち統合分類 ★		関連する生産物分類を まとめたもの ★	総数	総数	
				うち新規 ★	うちその他★				
総数			総数						
09_食料品製造業	93	84	74	0	0	10	0	41	41
10_飲料・たばこ・飼料製造業	29	32	29	3	0	0	0	12	14
11_繊維工業	174	109	58	4	3	42	2	75	61
12_木材・木製品製造業（家具を除く）	39	31	23	0	0	6	2	18	17
13_家具・装備品製造業	21	25	18	7	0	0	0	9	9
14_パルプ・紙・紙加工品製造業	56	44	0	0	2	40	2	16	15
15_印刷・同関連業	9	22	3	18	0	1	0	10	10
16_化学工業	200	174	122	12	2	38	0	29	29
17_石油製品・石炭製品製造業	23	22	18	0	0	4	0	5	5
18_プラスチック製品製造業（別掲を除く）	43	44	33	4	4	3	0	25	25
19_ゴム製品製造業	39	30	20	0	0	7	3	13	13
20_なめし革・同製品・毛皮製造業	34	27	19	0	1	5	2	11	11
21_窯業・土石製品製造業	109	92	65	0	0	25	2	43	41
22_鉄鋼業	64	59	39	0	0	19	1	24	23
23_非鉄金属製造業	53	50	32	0	0	18	0	18	18
24_金属製品製造業	104	97	88	0	2	7	0	37	37
25_はん用機械器具製造業	74	70	60	0	0	10	0	19	19
26_生産用機械器具製造業	143	137	122	4	0	11	0	26	26
27_業務用機械器具製造業	75	67	58	2	0	7	0	23	23
28_電子部品・デバイス・電子回路製造業	56	58	32	5	4	17	0	15	15
29_電気機械器具製造業	109	112	73	6	15	18	0	23	24
30_情報通信機械器具製造業	56	57	31	20	0	5	1	15	15
31_輸送用機械器具製造業	76	81	53	5	0	22	1	16	16
32_その他の製造業	106	93	69	8	4	12	0	30	30
総数	1,785	1,617	1,139	98	37	327	16	553	537

※(★)の例示は次ページ(参考2)に掲載
 ※今次産業分類改定、生産物分類改定含む

参考2. 製造品の詳細分類（新規、その他）、統合分類、関連する生産物分類をまとめたものの品目例示

※例示の品目は変更後のもの

1. 詳細分類

① 需要先が異なるものは事業所数が少ないものを除き新たに分割

⇒165411 生薬・漢方（一般用医薬品）、165412 生薬・漢方（医療用医薬品）
303511 ディスプレイ、303513 表示装置（ディスプレイに含まれるものを除く） 等

② 製造業の実態を的確に把握するため新たに分割

⇒293115 食器洗い乾燥機、293119 その他のちゅう房機器
289923 センサデバイス、299912 永久磁石、169515 フォトレジスト、267111 リソグラフィ（露光装置）、等

2. 統合分類

① 事業所数が少ないため詳細分類に分けることが出来ないもの

⇒231211 亜鉛地金、251311 はん用ガソリン・石油機関（はん用ガス機関を含む） 等

② 他の統計調査において既に全部対象で調査を実施しているもの

⇒142115 情報用紙、163611 合成ゴム（合成ラテックスを含む） 等

③ 需要先は異なるが、事業所数が少ないため、やむなく選定

⇒211911 魔法瓶用ガラス製中瓶、照明用・信号用ガラス製品 等

3. 関連する生産物分類をまとめたもの

① 一部品目は事業所数が少ないため、関連する生産物分類をまとめて選定

⇒192111 ゴム製靴、192112 ゴム製草履、スリッパ、地下足袋等、204129 革製履物（サンダル等） 等

参考3. 統計表の表章上、産業細分類が維持できなかったもの

1. 製造業（産業細分類 ⇒ 産業細分類を合わせたもの）

- 1117_ねん糸製造業（かさ高加工糸を除く）、1118_かさ高加工糸製造業、1119_その他の紡績業
⇒ 111A ねん糸、かさ高加工糸、その他の紡績糸製造業
- 1143_毛織物機械染色整理 1144_織物整理 ⇒ 114A 毛織物機械染色整理・織物整理製造業
- 1147_ニット・レース染色整理業 1148_繊維雑品染色整理業
⇒ 114B ニット・レース・繊維雑品染色整理製造業
- 1231_竹・とう・きりゅう等容器製造業 1232_木箱製造業 ⇒ 123A 木箱・容器等製造業
- 1421_洋紙・機械すき和紙 1424_手すき和紙製造業 ⇒ 142A 洋紙・機械すき和紙・手すき和紙製造業
- 2132_普通れんが製造業 2139_その他の建設用粘土製品製造業
⇒ 213A その他の建設用粘土製品製造業
- 2182_再生骨材製造業 2183_人工骨材製造業 ⇒ 218A 再生骨材・人工骨材製造業
- 3281_麦わら・パナマ類帽子・わら工品製造業 3289_その他の生活雑貨製品製造業
⇒ 328A その他の生活雑貨製品製造業

<参考3> 製造業、卸小売業、鉱業の生産物分類への対応について

参考3. 統計表の表章上、産業細分類が維持できなかったもの（続き）

2. 卸小売業（産業細分類 ⇒ 産業小分類）

(2-1 卸売)

- 5121_男子服卸売業 5122_婦人・子供服卸売業 5123_下着類卸売業 5129_その他の衣服卸売業
⇒ 512 衣服卸売業
- 5431_家庭用電気機械器具卸売業 5432_電気機械器具卸売業（家庭用電気機械器具を除く）
⇒ 543 電気機械器具卸売業

(2-2 小売)

- 5831 食肉小売業（卵，鳥肉を除く） 5832 卵・鳥肉小売業 ⇒ 583 食肉小売業

3. 卸小売（産業細分類 ⇒ 産業細分類を合わせたもの）

(3-1 卸売)

- 5211_米麦卸売業 5212_雑穀・豆類卸売業 ⇒ 521A 米麦、雑穀・豆類卸売業
- 5512_荒物卸売業 5515_陶磁器・ガラス器卸売業 5519_その他のじゅう器卸売業
⇒ 551A 日用雑貨，荒物・ポリ袋卸売業

(3-2 小売)

- 6022_荒物小売業 6023_陶磁器・ガラス器小売業 6029_他に分類されないじゅう器小売業
⇒ 602A 荒物小売業

<参考4> 製造業、卸小売業、鉱業の生産物分類への対応について

参考4. 製造品目の関係性に考慮した事例

・現行では、卸売業一つの品目に対し、これに対応する製造業の品目は、「他の～」と付く卸売業品目を除くと、特に多くの製造業品目に対応している品目は多い順に以下のとおり。

54321 電気機械器具（家庭用電気機械器具を除く）	：	163個の製造品目 …A
51131 織物（室内装飾繊維品を除く）	：	62個の製造品目
54311 家庭用電気機械器具	：	54個の製造品目 …B

・その中でも、特に多くの製造品目に対応し、製造品目が複数の産業中分類を跨いで構成されている「家庭用電気機械器具」「電気機械器具（家庭用電気機械器具を除く）」について、R8年品目の設定においては、家庭用、家庭用以外に対応する産業中分類の構成も考慮して以下の①～⑤の5つの品目に分割した。5つの品目に対応する製造業の産業中分類別の品目構成は以下のとおり。

変更前： R3品目名 (卸売業)	R3 製造品 目総数	変更後： R8品目名(卸売業)	R8製造品目								
			総数	うち 中分類①	品目数	うち 中分類②	品目数	うち 中分類③	品目数	うち 中分類④	品目数
A：家庭用 電気機械器 具	54	①家庭用電気機械器具 (白物家電等)	37	29_電気機械	37	-	-	-	-	-	-
		②家庭用電気機械器具 (映像音響機器等)	21	30_情報通信	21	-	-	-	-	-	-
B：電気機 械器具(家 庭用電気機 械器具を除 く)	163	③事業用電気機械器具 (電子部品・デバイス)	53	28_電子デバ	53	-	-	-	-	-	-
		④事業用電気機械器具 (その他の事業用電気機 械器具)	95	29_電気機械	57	30_情報通信	22	21_窯業・土石	8	23_非鉄金属	8
		⑤事業用電気機械器具 (超音波装置・高周波電 力応用装置)	6	29_電気機械	6	-	-	-	-	-	-